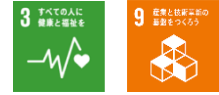


各位

株式会社池田泉州銀行
池田泉州キャピタル株式会社

～腎疾患等に苦しむ患者さんの quality of Life 改善に貢献する～

イノベーションファンド 25Next による
リジェネフロ株式会社への投資実行について



池田泉州キャピタル株式会社（社長 田中 耕）が運営し、株式会社池田泉州銀行（頭取 CEO 鶴川 淳）等が出資する「関西イノベーションネットワーク 2号投資事業有限責任組合（愛称：イノベーションファンド 25Next）」は、2024年9月30日付で、リジェネフロ株式会社（本社：京都府京都市、代表取締役 森中 紹文）に対し、投資を実行いたしました。

イノベーションファンド 25Next は、地域社会における新事業の創出等産業振興に寄与し、大阪・関西の地域経済の発展や雇用の確保に繋がると期待され、2025年大阪・関西万博が目指す「SDGs が達成される社会」や「Society5.0 の実現」に貢献する技術・ビジネスモデルを持った企業を投資対象としております。

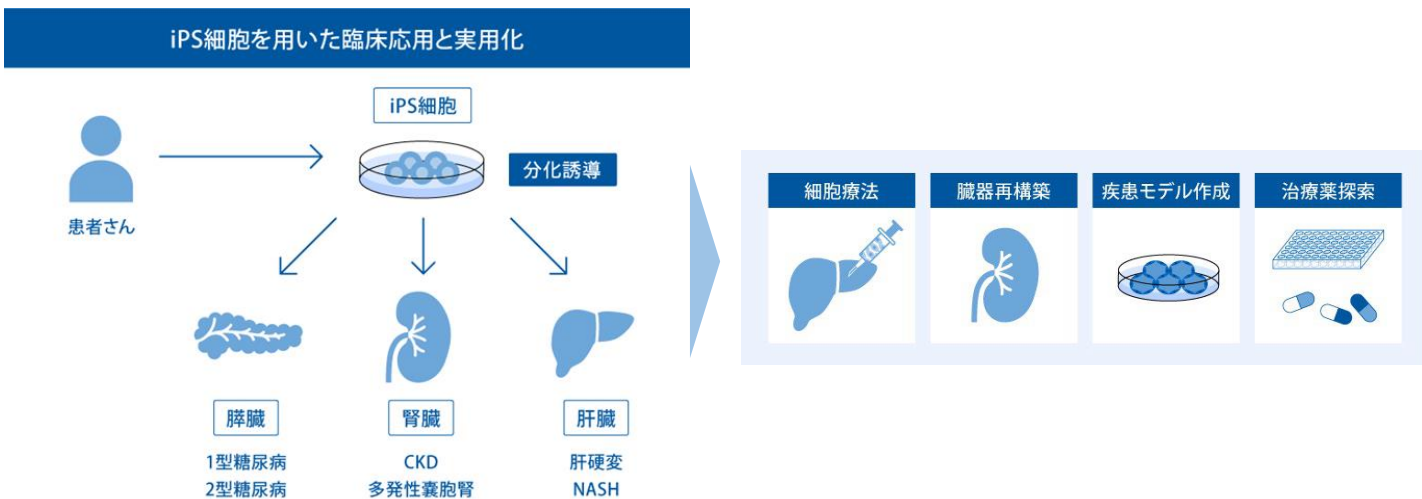
リジェネフロ株式会社は、京都大学 iPS 細胞研究所 長船健二教授の研究シーズを基盤とする京都大学発スタートアップ企業です。iPS 細胞をコアとするプラットフォーム技術で、腎臓・膵臓・肝臓における疾患に向けた再生医療等の開発に取り組んでいます。近年では、iPS 創薬（※1）によって多発性嚢胞腎（※2）の治療薬候補を発見し、臨床試験を併行して進めています。当社の取組は、腎疾患等に苦しむ患者さんへの有効なソリューション提供につながることを期待されます。

当行グループはイノベーションファンド 25Next を通じて、SDGs③「すべての人に健康と福祉を」、⑨「産業と技術革新の基盤をつくろう」の実現に貢献するリジェネフロ株式会社を支援いたします。



※1 iPS 創薬とは、患者さん等の細胞から作成した iPS 細胞を活用して病態を再現した疾患モデルを作成し、有効な医薬品を探索・開発すること。

※2 多発性嚢胞腎とは、両側の腎臓に多数の嚢胞が次第に発生・増大して、徐々に腎機能障害が進行する最も頻度の高い遺伝性疾患。

【リジェネフロ株式会社の事業全体像】



【投資先概要】

社名	リジェネフロ株式会社
代表取締役	森中 紹文（もりなか あきふみ）
所在地	京都府京都市左京区吉田下阿達町 46-29 京都大学医薬系総合研究棟
設立	2019年9月
事業内容	iPS細胞を用いた再生医療の研究開発
URL	https://regenephro.co.jp/
ミッション	腎疾患に対する様々なソリューションを研究開発し、腎疾患に苦しむ患者さんの quality of Life の改善により社会に貢献する
SDGs の実現	 

【ファンド概要】

名称	関西イノベーションネットワーク 2号投資事業有限責任組合 (愛称：イノベーションファンド 25Next)
ファンド総額	29.3 億円
有限責任組合員 (LP)	岩谷ベンチャーキャピタル合同会社、公益財団法人大阪産業局、大阪信用保証協会、関西テレビ放送株式会社、サントリーホールディングス株式会社、ダイキン工業株式会社、株式会社ダスキン、南海電気鉄道株式会社、日本生命保険相互会社、阪急阪神ホールディングス株式会社、三井住友信託銀行株式会社、株式会社ゆうちょ銀行、株式会社ユニオン、株式会社読売新聞大阪本社、ロート製薬株式会社、株式会社池田泉州銀行
無限責任組合員 (GP)	池田泉州キャピタル株式会社
投資対象	大阪・関西万博が目指す「SDGs が達成される社会」「Society5.0 の実現」に貢献する技術・ビジネスモデルを持った企業
投資形態	普通株式、優先出資 等
設立日	2023年5月30日
存続期間	10年（最大3年まで延長可）
連携機関	大阪府、大阪市、堺市、大阪商工会議所、公益財団法人大阪産業局、地方独立行政法人大阪産業技術研究所、株式会社池田泉州銀行 (2023年5月30日付『「関西イノベーションネットワーク 2号投資事業有限責任組合」を通じた連携に関する協定書』を締結)

当行はプレスリリースに関連するSDGs 17のゴールのアイコンを掲載しております。

